

小型の海水淡水化装置で工事現場の【今】を変える

沖縄県うるま市に本社を置くワイスグローバルレビジョン株式会社（沖縄県うるま市、柳瀬良奎社長、098-923-1432）は、「安全で美味しい水を世界中に届ける」という事を理念に、日々開発を続けている水関連製品の製造販売会社だ。



代表取締役社長 柳瀬良奎

これまで技術的な問題により大型にならざるを得なかった淡水化装置を、ワイスグローバルレビジョンは独自開発のハウジングケースを使用することにより、これまでにない程の小型化を実現した。しかも小型化のみならず、浄水飲用レベルを満たし、99.6%以上の塩分を除去する。

そのワイスグローバルレビジョンの海水淡水化装置MYZシリーズは、一時間40ℓ造水可能な最小タイプから一時間250ℓ、500ℓの造水が可能な製品までを基本ラインナップとしており、顧客のニーズに合わせて、それ以上の造水にも対応可能だ。

これまでには有りえなかった、持ち運び可能な淡水化装置の登場は、発展途上国を始めとした水不足の地域は勿論のこと、様々な建設現場にも大きな変化を与える可能性がある。

中でも特に注目したいのは、ワイスグローバルレビジョンが提案する一時間に100ℓの真水を造水可能な「MYZ E-100」と貯水タンク（200ℓ）、高圧洗浄機をセットにした「洗浄用キット」である。（下図参照）



ワイスグローバルレビジョンは本年度、海洋土木建設業者や機器レンタル会社への販売を積極化し、年間販売台数1,000セットを見込んでいる。

ご存じのように海沿いの現場では、塩害により大切な機材があっという間に錆びつき、駄目になってしまふため、建機レンタルの会社であっても貸し出しを拒むケースが見られる。高額な機材を長持ちさせるためには、現場で付着した海水等をいかに素早く洗い流すかが重要である。そこでワイスグローバルレビジョンのMYZシリーズを活用すれば、海からその場で真水を確保することが可能となり、洗浄までの時間に頭を悩ませる必要は無くなる。建機レンタル会社であれば当製品を購入し、他の重機と一緒に貸し出すといったオプションも提案出来るだろう。

また浄水された水は非常に美味しい、厚生労働省が定める水道法の基準値をクリアしているため、機材の洗浄目的だけではなく、作業員の飲み水を海水から確保することも可能であり、当製品を活用することで得られるメリットは多い。

MYZシリーズはRO(逆浸透膜)方式で動力は電気、ガソリン、ディーゼルエンジンでの駆動が可能。先述した洗浄用キットは160万円から販売する。導入し易いリースでの提供も開始する。



浄水洗浄

実際に使用する様子(動画)もワイスグローバルレビジョン株式会社のホームページ (<http://ysgv.jp/products/op/construction>) から確認可能である。